

16ポート ファスト・イーサネット・スイッチングハブ

**Fast Ethernet Switching Hub**

**FX-16V**

ユーザーズ・マニュアル



Version : 1.0

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**

# 目次

第1章	はじめに .....	1
1-1	概要 .....	1
1-2	特長 .....	2
1-3	梱包内容の確認 .....	3
1-4	各部の名称 .....	4
1-5	スイッチング・テクノロジーについて .....	6
1-6	VLAN機能について .....	8
第2章	インストール .....	11
2-1	設置場所について .....	11
2-2	設置 .....	11
2-3	電源の接続 .....	12
2-4	RJ-45ポートを使用したワークステーションの接続 .....	12
2-5	光ファイバを使用した接続(FX-1ST/1SC使用時) .....	13
2-6	他のハブとのカスケード接続 .....	14
第3章	VLAN機能の設定 .....	16
3-1	端末の接続及び設定 .....	16
3-2	設定 .....	17
付録A	トラブルシューティング .....	21
付録B	Autonegotiation機能について .....	22
付録C	仕様 .....	23

記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

# このマニュアルについて

本マニュアルはファスト・イーサネット・スイッチングハブ FX-16Vの概要および使用方法について説明します。

本マニュアルの構成は以下になっております。

## 第1章 はじめに

本製品の概要と各部の名称について説明します。  
必ずお読みください。



## 第2章 インストレーション

本製品の設置方法およびネットワークへの接続方法について説明します。必ずお読みください。



## 第3章 VLAN設定

本製品のVLAN(Virtual LAN)機能を使用する場合の設定方法について説明します。  
本製品は出荷時の状態で通常のスイッチングハブとして使用可能です。VLAN機能を使用する場合にお読みください

## 付録A トラブルシューティング

「トラブルかな?」と思われる場合の対応方法について説明します。

## 付録B Autonegotiation機能について

Autonegotiation機能について説明します。

## 付録C 仕様

本製品の仕様について説明します。

## マニュアル内の表記について

本マニュアル内では製品の名称を本製品と表記します。区別が必要な場合は製品型番で表記します。

# 第1章 はじめに

## 1-1 概要

本製品はIEEE802.3 10BASE-TおよびIEEE802.3u 100BASE-TX規格に準拠したラックマウント・サイズのファストイーサネット・スイッチング・ハブです。

ツイストペア・ケーブル接続用のRJ-45 STPポートを16ポート装備しています。

各ポートはAutonegotiation機能に対応しており、転送速度(100/10Mbps)および転送モード(全二重/半二重)を自動認識します。

各ポートともステータスLEDを装備しており、容易にハブのステータスを確認する事が可能です。

本製品はVLAN機能に対応しています。VLAN機能はポート単位で4グループまでのVLANを構成することが可能です。  
また、拡張スロットにオプションの光ファイバモジュール(型番:FX-1ST/FX-1SC)を装備する事が可能です。

## 1-2 特長

- ・ IEEE802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX規格に準拠
- ・ 100BASE-TX/10BASE-T接続用のRJ-45 STPポートを16ポート装備
- ・ Autonegotiation機能により、転送速度(100/10Mbps)および転送モード(全二重/半二重)を自動認識可能
- ・ スイッチング方式にはストア&フォワード方式を採用
- ・ MACアドレステーブルを装備し最高1024のMACアドレスを自動学習可能
- ・ 2MByteのパケットバッファを装備
- ・ 4グループまでのVLANを構成可能
- ・ フローコントロール対応(全二重時IEEE802.3x、半二重時バックプレッシャー)
- ・ LEDにより各ポートおよびネットワークのステータス確認が可能
- ・ 他のハブとのカスケード接続用のUplinkポートを装備
- ・ 標準19インチラックにマウント可能
- ・ 拡張スロットにオプションの光ファイバモジュールを装備可能
- ・ VLAN設定用のシリアルポート(D-SUB9ピン)を装備

## 1-3 梱包内容の確認

パッケージには、以下の付属品が含まれます。

- ・FX-16V本体
- ・設定用シリアルケーブル
- ・電源ケーブル
- ・ラックマウント用金具 2個
- ・ネジ
- ・このユーザーズ・マニュアル

不足品がある場合は、販売店または弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

## 1-4 各部の名称

### ・ 前面パネル

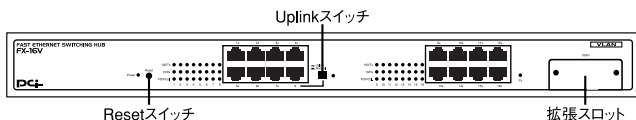


図1-1 前面パネル

ポート 1 ～ 16 : 100BASE-TX/10BASE-Tツイストペアケーブル接続用のRJ-45ポートです。

Uplinkスイッチ : ポート8を他のハブとのカスケード接続用のUplinkポートに切り替えるときに使用します。

Uplink LED : Uplinkスイッチが"Uplink"に設定されているときに点灯します。

Power LED : ハブに電源が入ると点灯します。

Resetスイッチ : 本製品を初期化(リセット)するときに使用します。  
このスイッチを押すと本製品は電源投入時の状態に戻ります。

100/Tx LED : ポートのリンクが100Mbpsで確立すると点灯します。ポートがデータの送信中は点滅します。

10/Rx LED : ポートのリンクが10Mbpsで確立すると点灯します。ポートがデータの受信中は点滅します。

FDX/Col. LED : ポートが全二重モードで通信中は点灯します。ポートでコリジョンが検出されると点滅します。

FX LED : オプションの光ファイバモジュールが装備されているときに点灯します。このLEDが点灯しているときはポート16は使用できません。

拡張スロット : オプションの光ファイバモジュールを装備するための拡張スロットです。

・背面パネル

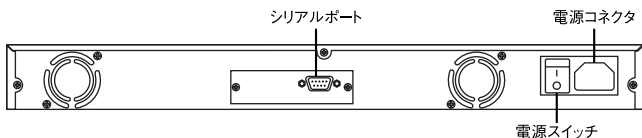


図1-2 背面パネル

**シリアルポート**：VLAN機能設定用のシリアルケーブルを接続します。

**電源コネクタ**：電源ケーブルを接続します。

**電源スイッチ**：本製品の電源をON/OFFします。

・裏面ステッカー

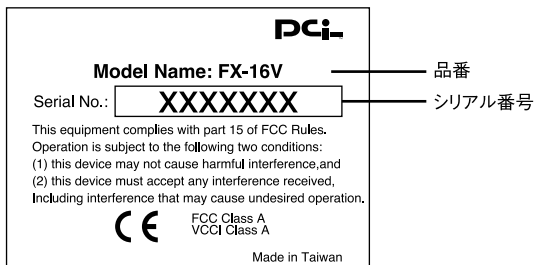


図1-3 裏面ステッカー

**品番**：本製品の製品型番です。

**シリアル番号**：本製品のシリアル番号です。製品外箱に記載されているものと同じ番号です。ユーザ登録時に必要となります。また、製品故障時などにサポートを受ける場合にも必要となります。



## 1-5 スイッチング・テクノロジーについて

通常のリピータハブではすべてのパケットが常にすべてのポートに送信されます。また、すべてのポートで帯域幅を共有するため、同時に複数のパケットが送信されると衝突(コリジョン)が発生します。スイッチングハブではパケットの宛先アドレスを調べて、宛先となっている機器が接続されているポートにのみパケットを送信します。これにより不要なパケットが他のポートに送られるのを防ぎ、ネットワークの効率を向上することが可能となります。

スイッチングハブはアドレステーブルと呼ばれる領域に各ポートに接続されている機器のMACアドレスを記憶します。あるポートがパケットを受信するとそのパケットの宛先アドレスをアドレステーブルから探して該当するポートにのみパケットを送信します。

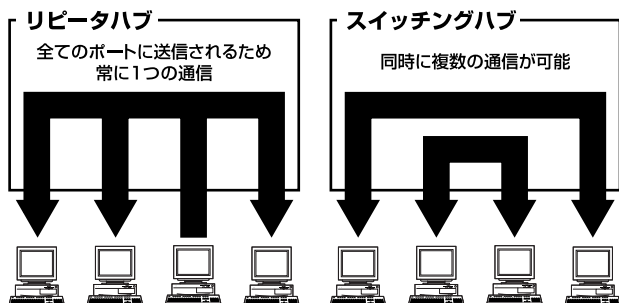


図1-4 リピータハブとスイッチングハブの違い

スイッチングの方式にはカットスルー方式、ストア&フォワード方式等があります。

カットスルー方式はパケットを受信すると即座に宛先アドレスを調べて該当するポートにパケットを送信します。この方式ではパケットのチェックは行われないのでエラーパケットも送信されてしまいます。ストア&フォワード方式では受信したパケットを一旦ハブ内部のパケットバッファに格納し、パケット長やCRCに異常がないか確認します。そして正常なパケットのみを宛先ポートに対して送信し、エラーパケットが送信されるのを防ぎます。

本製品ではスイッチング方式にストア&フォワード方式を採用しています。また、フローコントロールにも対応しパケットバッファがいっぱいになったとき、データがバッファからあふれないように制御します。半二重通信時にはバックプレッシャー機能によりバッファがいっぱいになるとコリジョン信号を送信し、データの送信を停止させます。全二重通信時にはIEEE802.3xの機能により、接続先にpauseコマンドを送信することによりデータの送信を停止させます。

通常のリピータハブでは、ハブ同士のカスケード接続の段数に10BASE-Tでは4段、100BASE-TXでは2段という制限があります。スイッチングハブでは各ポートが別々のコリジョンドメインに分割されるため、カスケード接続の段数の制限がなくなります。これによりルータやブリッジを使用することなく、ネットワークの拡張を容易に行うことが可能となります。

以上のような機能によりスイッチングハブでは、通常のリピータハブに比べて格段にネットワーク効率やネットワークの拡張性を高めることが可能となります。

## 1-6 VLAN機能について

VLAN(Virtual LAN)機能とは、複数のポートをグループにしブロードキャストドメインを分割することによりネットワーク上のトラフィックの軽減やセキュリティの強化を行うための機能です。

VLAN機能により分割されたグループでは、同じグループ内に接続された機器とのみ通信が可能となります。ブロードキャストパケットを含めたすべてのパケットは他のグループに送信されません。これによりVLAN機能は以下のような長所を持つことができます。

### ネットワーク効率の改善

トラフィックの多いワークグループをグループ化しブロードキャストドメインを分割する事により、ネットワーク上の他のワークグループへパケットが流れるのを防ぎます。これによりネットワーク効率を改善することが可能です。

### セキュリティの強化

グループ間では、論理的にネットワークは切断されており通信できません。これにより、セキュリティが重要なワークグループからのデータの漏洩を防ぐことができます。

### コスト削減

ブロードキャストドメインを分割するために、高価でまた設定の面倒なルータを導入する必要がありません。

本製品ではポートごとにグループの設定を行います。最大4つのVLANグループを構成することが可能です。設定方法については「第3章 VLAN機能の設定」を参照してください。

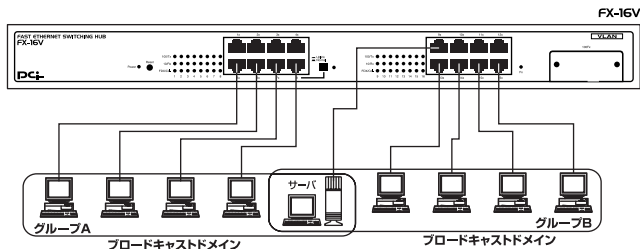


図1-5 VLAN構成例

上記のようにVLANを設定した場合、ルーターを使用しなくてもグループA・Bともにサーバーとの通信が可能です。それに加えてグループA・B間でパケットは通信されないの、効率良く、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

#### ブロードキャストパケット

ネットワーク上を流れるパケットのうち、ネットワーク上のすべての機器が受信しなければならないパケット。(VLANやルーターにより制限できます。)

#### コリジョンドメイン

リピータを介して接続されたネットワーク上で複数の機器が同時にパケットを送信するとコリジョン(衝突)が発生します。このようにコリジョン信号を共有するネットワークの範囲をコリジョンドメインと言います。スイッチングハブでは各ポートごとに異なるコリジョンドメインに分割されます。また、同じコリジョンドメインでは、ノード間距離やカスケード台数の制限があります。

## ブロードキャストドメイン

スイッチングハブではコリジョンドメインは各ポートごとに分割されますが、ブロードキャストパケットは全ポートに送信されます。このようにブロードキャストパケットが送信されるネットワークの範囲をブロードキャストドメインと言います。一般的にはブロードキャストドメインを分割するためにはルータを使用します。

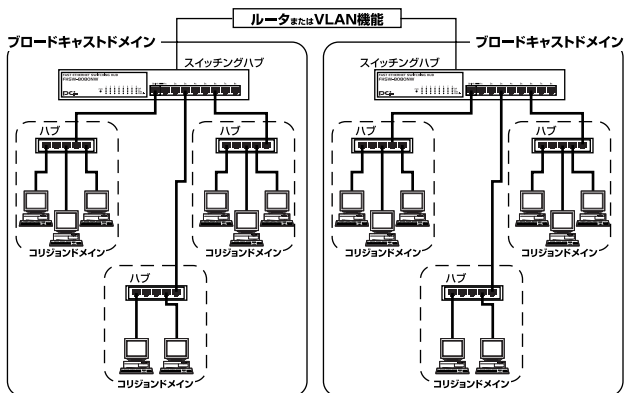


図1-6 コリジョンドメインとブロードキャストドメイン

## 第2章 インストールレーション

### 2-1 設置場所について

ハブを設置する際には必ず以下の点をお守りくださいますようお願いいたします。

- ・湿気の多い場所に設置しないでください。
- ・チリやほこりの多い場所には設置しないでください。
- ・直射日光のあたる場所や温度の高い場所には設置しないでください。
- ・内部に熱がこもる原因となりますので、周囲にはなるべく空間を空けてください。

#### 注意



本体側面や背面の通風口にほこりなどがたまると内部に熱がこもる原因となります。定期的に点検を行い、ほこりがたまっているようでしたら掃除機等でほこりを取り除くようにしてください。

### 2-2 設置

本製品は、デスクトップ上などの平らな場所、または標準19インチラックに設置することが可能です。

平らな場所に設置する場合

- 1 デスクトップ上などの平らな場所に設置してください。

19インチラックに設置する場合

- 1 付属のラックマウント用金具を付属のネジで本製品に取り付けてください。
- 2 ラックにネジで取り付けてください。



## 2-5 光ファイバを使用した接続 (FX-1ST/FX-1SC使用時)

オプションの光ファイバモジュール(型番:FX-1ST/FX-1SC)を使用すると、本製品と他の100BASE-FX対応機器間を最大2kmの距離で接続可能です。FX-1STは100BASE-FX STコネクタを1ポート装備しています。FX-1SCは100BASE-FX SCコネクタを1ポート装備しています。

FX-1ST/FX-1SCは全二重モードに対応しています。全二重モードに対応した機器のみ接続可能です。

- 1 接続先の機器が全二重/半二重に対応している場合は全二重に設定してください。設定方法については接続先の機器のマニュアルを参照してください。
- 2 光ファイバケーブルの一端をFX-1ST/FX-1SCの100BASE-FX TX/RXポートに接続してください。
- 3 光ファイバケーブルのもう一端を他の機器の100BASE-FX RX/TXポートに接続してください。

### 注意

- ・ 接続する前に接続先の機器を全二重に設定してください。
- ・ 使用できるケーブルはSCまたはSTコネクタを装備した、マルチモード62.5/125  $\mu$ mの光ファイバケーブルです。ケーブルの最大長は2Kmです。
- ・ 光ファイバモジュールを装備しているときは、ポート16は使用できません。





## 2-6 他のハブとのカスケード接続

ハブのポート数が足りなくなった場合は、ハブ同士をツイストペアケーブルで接続してポート数を増やすことができます。このようにツイストペアケーブルを使用したハブ同士の接続をカスケード接続といいます。

- 1 10BASE-T接続ではカテゴリ3以上、100BASE-TX接続ではカテゴリ5のツイストペアストレートケーブルを用意してください。ケーブルの最大長は100mです。(弊社型番:UTP-xx-05、UTP-xx-DT、STP-xx-05)
- 2 UplinkスイッチをUplinkに切り替えてください。
- 3 ツイストペア・ケーブルの一端をポート8に差し込みます。
- 4 ツイストペア・ケーブルのもう一端を他のハブの100BASE-TX/10BASE-T RJ-45ポートに差し込みます。接続先の機器が正しく動作していれば、接続したポートの100/Txまたは10/Rx LEDが点灯します。
- 5 本製品に2台以上のハブをカスケード接続する場合は、相手側のハブのUplinkポートと本製品のいずれかのポートを接続してください。相手側のハブにUplinkポートが無い場合は、クロスケーブルを使用してハブ間を接続してください。

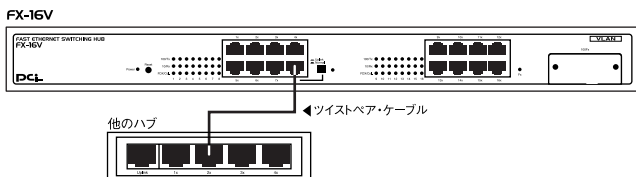


図2-2 他のハブとのカスケード接続

### Uplinkポートについて

Uplinkポートはハブ間をストレートケーブルで接続するためにハブ内部でクロス結線されているポートです。

Uplinkポートを使用しない場合等、その他の組合せでカスケードする場合は以下の表をご参照ください。

FX-16V	ケーブルの種類	他のハブ
Uplink	ストレート	RJ-45ポート
Normal	ストレート	Uplinkポート
Normal	クロス	RJ-45ポート
Uplink	クロス	Uplinkポート

### 注意



接続後、通信が正常に行えない場合は、付録A、付録Bを参照してください。

## 第3章 VLAN機能の設定

本製品のVLAN機能の設定は、本製品背面のシリアルポートに接続した端末上で行います。

端末にはPCまたはVT-100互換のターミナルを使用します。

Windows95/98をインストールしたPCを使用する場合はハイパーターミナル等の通信ユーティリティを使用します。

### 3-1 端末の接続および設定

- 1 本製品の電源をOFFにしてください。
- 2 本製品背面のシリアルポートと、端末のシリアルポートを付属のシリアルケーブルで接続してください。
- 3 端末の通信条件を以下のように設定してください。

通信速度	9600bps
データビット	8
ストップビット	1
パリティ	無し
フロー制御	無し

Windows95/98上でハイパーターミナルを使用する場合の設定

Windows95/98上でハイパーターミナルを使用する場合は、接続方法で「Com x ヘダイレクト」を選択しポートの設定を行ってください。

- 4 本製品の電源をONにしてください。

5 以下のようなメインメニューが表示されます。

```
16-port 10/100 BASE Ethernet Switch
Version 1.32 (990208)
VLAN Port List
V1 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16
V2 <empty>
V3 <empty>
V4 <empty>
VLAN/Default/Save (V/D/S)?
```

## 3-2 設定

本製品ではV1、V2、V3、V4の最大4グループのVLANを設定することが可能です。また、各ポート、複数のグループに参加することも可能です。

出荷時状態では、すべてのポートがV1グループに設定されています。

メインメニューでは次の3つのコマンドが使用できます。

V : VLANの設定を行うときは[V]キーを押してください。

D : VLAN設定を工場出荷時の初期設定の状態に戻すには[D]キーを押してください。

S : 設定内容を保存するときは[S]キーを押してください。

また、[Esc]キーを入力するとメインメニューに戻ります。

・ VLANの設定

- 1 メインメニューで[V]キーを押すと次のメッセージが表示されます。設定したいVLANグループ名(V1～V4)を入力してください。

VLAN Port List

V1 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16

V2 <empty>

V3 <empty>

V4 <empty>

VLAN/Default/Save (V/D/S)?v

Please enter the VLAN# or ESC to abort (V1-V4)->

- 2 現在のグループの設定内容と共に、プロンプトが表示されます。グループに追加したいポート番号を入力してください。ポート番号は、半角数字で","(カンマ)で区切って入力してください。連続したポートを入力する場合は間に"-"(ハイフン)を入れて入力してください。1つのポートを複数のグループに割り当てることも可能です。

Please enter the VLAN# or ESC to abort (V1-V4)->V1

The current V1 is 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16

Please enter the new port list ->1-4,6,8

- 3 入力終了したら[Enter]キーを押してください。どのグループにも割り当てられていないポートがある場合、以下のようなメッセージが表示されます。必ずすべてのポートを V1～V4 のいずれかのグループに割り当ててください。

```
VLAN Port List
```

```
V1 1,2,3,4,6,8
```

```
V2 <empty>
```

```
V3 <empty>
```

```
V4 <empty>
```

```
** Error ** Port
```

```
5,7,9,10,11,12,13,14,15,16 is not selected
```

```
Please enter the VLAN# or ESC to abort (V1-V4)->
```

- 4 続いて他のグループも設定する場合は、手順1～3を繰り返してください。すべてのポートがいずれかのグループに割り当てられるとメインメニューに戻ります。設定が終了したら設定の保存を行ってください。

・設定の保存

設定を保存するにはメインメニューで[S]キーを押してください。以下のようなメッセージが表示され設定が保存されます。

```
VLAN Port List
```

```
V1 1,2,3,4,6,8
```

```
V2 5,7
```

```
V3 9,10,11,12
```

```
V4 13,14,15,16
```

```
VLAN/Default/Save (V/D/S)?s
```

```
Saving configuration...
```

・出荷時状態への復帰

VLANの設定を工場出荷時の状態(全ポートがV1グループに割り当てられた状態)に戻すにはメインメニューで[D]キーを押してください。以下のようなメッセージが表示されるのでよければ[Y]キーを押してください。VLAN設定が工場出荷時の状態に戻りメインメニューが表示されます。

```
VLAN Port List
```

```
V1 1,2,3,4,6,8
```

```
V2 5,7
```

```
V3 9,10,11,12
```

```
V4 13,14,15,16
```

```
VLAN/Default/Save (V/D/S)?d
```

```
*** WARNING ***
```

```
Do you want erase all current setting and reset to  
default? (Y/N)y
```

## 付録A   トラブルシューティング

本製品に接続した機器間の通信ができない場合は以下の点を確認してください。

機器を接続しているポートの100/Txまたは10/Rx LEDが点灯または点滅しているか確認してください。消灯している場合は、本製品と接続した機器との間でリンクが確立していません。この状態では通信は行えません。

特定のポートと通信できない場合はVLANが設定されている可能性があります。シリアルポートに端末を接続しVLANの設定を確認してください。

100/Txまたは10/Rx LEDが点灯しているのに通信できない場合は、設定後の本製品の電源のリセットが行われていない可能性があります。電源のOFF/ONを行ってみてください。

ケーブル不良の可能性があります。他の正常に通信が行えているケーブルと交換してください。

接続しているポートを他のポートに替えてください。それで通信が行えるようであれば本製品のポート不良です。弊社テクニカルサポートまでご連絡ください。



## 付録B Autonegotiation 機能について

ネットワーク機器の転送速度の自動認識の方法としてはAutonegotiationとAuto-Sensingの2種類があります。これらの方  
式には以下のような特徴があります。

### Autonegotiation(オートネゴシエーション)

IEEEにより規定された規格。Autonegotiation機能に対応した機器同士を接続すると、機器間でネゴシエーション(交渉)を行い、転送速度(10Mbps/100Mbps)および転送モード(全二重/半二重)を自動的に選択します。

### Auto-Sensing(オートセンシング)

転送速度(10Mbps/100Mbps)を自動識別します。規格化はされておらず、Auto-Sensing対応機器同士またはAuto-Sensing対応機器とAutonegotiation対応機器とを接続したときに自動認識が正常に動作せず接続できない場合もあります。

本製品はAutonegotiation機能に対応しています。

本製品にAutonegotiation対応機器を接続した場合は、転送速度(10Mbps/100Mbps)および転送モード(全二重/半二重)を自動認識します。しかし、本製品にAuto-Sensing機能に対応した機器を接続した場合、転送速度(10Mbps/100Mbps)の認識が正常に行われない場合があります。この場合は接続する機器のAuto-Sensing機能を無効に設定できる場合は無効にし、転送速度は100Mbps、転送モードは半二重にそれぞれ固定してください。

## 付録C 仕様

アクセス方法 : CSMA/CD 10/100Mbps

対応標準 : IEEE 802.3 10BASE-T、IEEE802.3u 100BASE-TX

対応メディア : UTP/STPケーブル

10Mbps : カテゴリ3以上

100Mbps : カテゴリ5

ポート数 : 10/100Mbps RJ-45スイッチングポート  
(MDI-X/MDI) × 16ポート

設定方法 : Autonegotiation

LED表示 : Power、100/Tx、10/Rx、FDX/Col.、Uplink、FX

ネットワークブリッジ機能 : フィルタリング、フォワーディング、  
アドレス学習

フィルタリング/フォワーディング速度 : 最高 148,800pps

スイッチ処理方式 : ストア&フォワード

アドレステーブル : 1024エントリ

パケットバッファ : 2MByte

フローコントロール : IEEE802.3x (全二重時)  
バックプレッシャー (半二重時)

入力電源 : AC100 ~ 240V、50/60Hz

消費電力 : 最大24W

動作温度 : 0 ~ 40

動作湿度 : 35 ~ 85% (結露しないこと)

寸法 : 440 × 205 × 45 (W × D × H)mm

重量 : 2.6Kg

E M I : FCC Class A、CE、VCCI Class A

技術的なご質問、バージョンアップ等のお問い合わせは  
お気軽に下記へご連絡ください。

なお「ユーザー登録はがき」をご返送いただいていない場合には、  
一切サポートは受けられませんのでご注意ください。

フリーダイヤル：0120-415977

FAX：03-3256-9207

受付時間

月曜日～金曜日(祭日は除く)

10:00～12:00・13:00～17:00

ご質問の受付やドライバのアップデートを  
下記wwwサーバで行なっておりますのでご利用ください。

<http://www.planex.co.jp/>

E-MAIL: [info-planex@planex.co.jp](mailto:info-planex@planex.co.jp)

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**

FX-16V

User's Manual Ver.1.0 Rev.A

© Copyright 1999 PLANEX COMMUNICATIONS INC. All rights reserved.

# 質問票

技術的なご質問は、この2ページをコピーして必要事項をご記入の上、下記FAX番号へお送りください。

プラネックスコミュニケーションズテクニカルサポート担当行  
FAX : 03-3256-9207

会社名			
部署名			
名前			
電 話		F A X	
NIFTY ID		E-MAIL	

製品名	<b>16Port Fast Ethernet Switching Hub</b>
型番 Product No.	<b>FX-16V</b>
製造番号 Serial No.	

INTERFACE  
CARD  
構成

IRQ	
I/O ADDR	
MEDIA	BNQ( 10Base-2 ) AU( 10Base-5 ) UTR( 10Base-T )

ソフトウェア

ネットワーク OS	バージョン
OS	バージョン

ご使用の  
パソコン  
について

メーカー			
型番			
その他使用中のカード( SCSI / Sound Card等 )	IRQ	I/O ADDR	

使用区分          サーバー          クライアント

診断プログラムが添付されているカードの場合には、テスト結果  
をご記入ください。

トラブル( エラーメッセージ )発生時とその具体的な場所

パソコン起動時

INTERFACE CARD構成時

CONFIG.SYS読み込み中

バッチファイル読み込み中

その他

質問内容

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**

# 保証規定

この製品は、厳密な検査に合格したものです。保証期間内に、お客様の正常なご使用状態の元で万一故障した場合には、本保証規定に従い無償で修理をさせていただきます。

ご購入後 1 ヶ月以内に発生した故障については初期不良交換対象となります。1 ヶ月を過ぎた場合は修理扱いとさせていただきますのでご了承ください。なお、弊社はセンドバック方式をとらせていただいております。

故障の場合には、製品をお客様送料ご負担にて郵送していただき、弊社まで修理をご依頼ください。

ただし、次のような場合には保証期間内においても、有償修理となります。

1. ユーザー登録はがきが返送されていない場合
2. 購入日が明記されていない場合
3. 取扱上の誤りによる故障及び損傷、不当な修理や改造などをされた場合
4. お買い上げ後の移動、落下または郵送などにより故障、損傷が生じた場合
5. 火災、天災、地変、ガス害、または異常電圧により故障、損傷が生じた場合

保証書は、日本国内においてのみ有効です。

保証期間は、製品お買い上げ日より算定いたします。

保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**

# 保証書

弊社の保証規定を必ずご覧ください。

保証期間 Warranty	西暦          年          月          日より    1   年間
製品名	<b>16Port Fast Ethernet Switching Hub</b>
型番 Product No.	<b>FX-16V</b>
製造番号 Serial No.	

個人使用          法人使用（チェックしてください。） 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。			
フリガナ			
会社名 （個人名）			
部課名			
フリガナ			
担当者名			
フリガナ			
住 所	<div>□□□-□□□□</div> <div>都 府 道 県</div>		
電 話	—	—	内線
F A X	—	—	
NIFTY ID		E-MAIL	

購入店名 所在地	
-------------	--

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**

# ユーザー登録について

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。弊社では製品をお買い上げいただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。ユーザー登録を行っていただいたお客様には新製品情報、バージョンアップ情報、キャンペーン情報等さまざまな情報を提供させていただきます。また、製品の故障等でユーザーサポートをお受けになるにはお客様のユーザー登録が必要となります。ぜひユーザー登録を行ってくださいますようお願いいたします。

ユーザー登録は下記弊社インターネットホームページ上で受け付けております。ホームページ上でユーザー登録を行って戴いたお客様には抽選でプレゼントを差し上げております。ぜひホームページ上のユーザー登録をご利用くださいますようお願いいたします。

<http://www.planex.co.jp/>

インターネットをご使用になれないお客様は、本マニュアル最終ページのユーザー登録はがきをご使用ください。切り取って必要事項をご記入の上、弊社宛にご返送ください。インターネット上でユーザー登録をされたお客様は、ユーザー登録はがきをご返送いただく必要はありません。

## ユーザー登録書の記入方法

ユーザー登録書をご記入いただく場合には、以下の事項を参考にしてください。

“製造番号”には、パッケージ側面に貼られているバーコードシールの“S/N”または商品裏側に記されている内容をご記入ください。

ユーザー登録書の表面の使用環境を忘れずに必ずご記入ください。サポート時の参考情報とさせていただきます。

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**



郵便はがき

お手数ですが  
切手を貼り  
ポストに  
ご投函下さい。

101-0041

東京都千代田区神田須田町 1-7  
ウイン神田高橋ビル 5F

**プラネックスコミュニケーションズ株式会社**

『テクニカル・サポート担当』 行

ご使用になっている環境をお知らせください。

使用 ネットワークOS	
使用OS	
使用機種	

# ユーザー登録書

( プラネックスコミュニケーションズ 控 )

購入日	西暦                      年                      月                      日
製品名	<b>16Port Fast Ethernet Switching Hub</b>
型番 Product No.	<b>FX-16V</b>
製造番号 Serial No.	

個人使用                      法人使用 ( チェックしてください。 ) 個人でご使用の場合には、個人名、および住所以降の欄にのみご記入ください。	
フリガナ	
会社名 ( 個人名 )	
部課名	
フリガナ	
担当者名	
フリガナ	
住 所	<div> <div>□□□-□□□□</div> <div>都 府</div> <div>道 県</div> </div>
電 話	—                      —                      内線
F A X	—                      —
NIFTY ID	<div>E-MAIL</div>

購入店名 所在地	
-------------	--

**PLANEX COMMUNICATIONS INC.**